

to heart

ひだまり通信

お疲れ様です。

2018 年も残すところあと僅かになりました。

毎年毎年、一年たつのが本当に早くなりました。

母がよく、「40 代の頃なんて覚えていない、、、」と言っていたのがその通りになってしまいました。子育てのせい？仕事？なんでかわかりませんが、とにかく毎日ばたばた過ごしているような気がします。日々の忙しさにかまけて立ち止まってゆっくり考える暇もないけれど、時々思うことは、やっているつもりだけど、いろんな事ちゃんとやっているのかな？

しっかりした子供思いのいいお母さんになりたいのに、子育て本に書いてあるような子供に言ってはならないことを一通り全部言っています。

料理上手な家庭的な人になりたいのに、ご飯だってなんだか似たようなものばかり作っています。やることなすことおおざっぱ。日々のことをこなすことで精一杯。

患者さんにもあの時もっとこうしていればよかったのかな、もっといい対応の仕方があったのではないかな、あんな言い方しなければ良かった、もっと他の言い方があったんじゃないかなとか。

患者さんを元気付け、いい方向に導かないといけない立場が、気がつけば元気を頂き、色んな事を教えて頂いています。

このままではただの愚痴になってしまうので、自分も成長していこうと最近改めて思うようになりました。皆さんは、どうして医療従事者になろうと思いましたか？

私は、学生の頃「なんで医者になろうと思ったの？」と聞かれ、崇高な考えを持って受験したような気もするけどはっきり答えられなかった自分がいました。でも、そんなぼんやりした私も働き出してから、患者さんの助けになりたいといつからか強く思うようになりました。職業が人を育てるという言葉がありますが、まさにその通りかもしれません。これまで多くの患者さん、諸先輩方、同僚、スタッフに教えられ助けられてきました。今でもそうです。

毎日の忙しさの中で忘れがちになることが多いですが、家庭でも、仕事でも、大事に思っていることを時々立ち止まって思い出して行こうと思います。

きっとあつという間の人生なんだろうけど、一年一年無事に健康に過ごして、子供に負けないように少しずつでも成長していこうと思う今日この頃です。

平成 30 年 12 月

健診センター センター長 梶山實香